

事業所名

放課後等デイサービス bee. for kids

支援プログラム

作成日

7 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		多様性が広く認められ、「好き」で活躍できる社会へ。					
支援方針		幼少期からその一人に寄り添い、才能を伸ばし、社会で活躍できるきっかけを得られるような療育サービスの提供を目指す。					
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・毎日の健康管理と必要な対応を行い、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、観察を行います。 ・到着時及び降所前の身辺処理（靴や上着の用意や着脱、荷物の整理、提出物の管理など）を利用児童・生徒に合わせ実施し、習慣化出来るように支援しています。 ・基本的な生活のリズムを身に付けられるよう決まった時間での誘導と支援を行います。 ・1日の流れや、イベントの説明などは視覚支援を用いるなど、利用者様の分かりやすい方法で伝えられるよう支援します。 ・不安なく過ごすことが出来るよう支援します。生活の中での課題を利用児童・生徒、ご家族様から伺い、個別支援として取り組みます。					
	運動・感覚	・集団活動にて、運動やダンスなど体を使う課題を提供し、身体機能の維持・向上を図ります。 ・集団活動や製作活動にて、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、様々な体験を提供し支援します。 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動機能の観察を行い、必要に応じて個別支援として支援を行います。					
	認知・行動	・色や数字、物品など様々な概念獲得に向け、利用児童・生徒の特性や能力を観察し、課題の提供を行います。 ・認知の偏りを把握し、適宜支援を行うことで拘りや忌避感を軽減できるように支援します。 ・利用児童・生徒が認知、解釈しやすいように環境を整え、ストレスなく過ごすことが出来るよう支援します。 ・集団活動や製作活動にて、各感覚を刺激し興味の幅を広げることが出来るように支援します。					
	言語 コミュニケーション	・利用児童・生徒の特性に応じた課題を設定し、読み書き能力の向上を図ります。 ・インリアルアプローチを基本とし、コミュニケーションの経験を積むことが出来るように支援します。 ・絵カードやサインなどを用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援します。 ・集団活動を通して、他児とのやり取りの場を提供し、職員が間に入り援助、支援します。					
	人間関係 社会性	・思いに寄り添った言葉がけに努め、職員と利用児童・生徒の良好な関係形成を図ります。 ・職員がモデルケースとなり、他児交流の経験を積むことが出来るように支援します。 ・集団活動を通して、ルールや順番を守ることや、協調した関りを持てるように支援します。 ・他児との適正な距離感を把握が出来るように、適宜声掛けを行い、他児との良好な関係形成を支援します。					
家族支援		・連絡帳や送迎時の会話などで随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談や、参観する場を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。				移行支援	学校や関連の医療・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。
地域支援・地域連携		地域イベントへの参加や、近隣の他施設との交流会を設けたり、地域との交流の機会を提供し支援します。				職員の質の向上	①職員会議（毎月）実施②虐待研修の実施③ケース事例検討会議 ④研修会の参加と伝達講習
主な行事等		①防災訓練 ③季節行事（花見・夏祭り・ハロウィン・クリスマス会・節分・バレンタイン・ひな祭り等）④おやつ作り（不定期）					